

がん登録実務者のための 5大がん登録講座2023

— アンケート結果報告 —

講師 江森 佳子先生 国立がん研究センター
中林 愛恵先生 島根大学医学部附属病院
寺本 典弘先生 四国がんセンター

日時：2024年1月20日（土）10：00-15：00

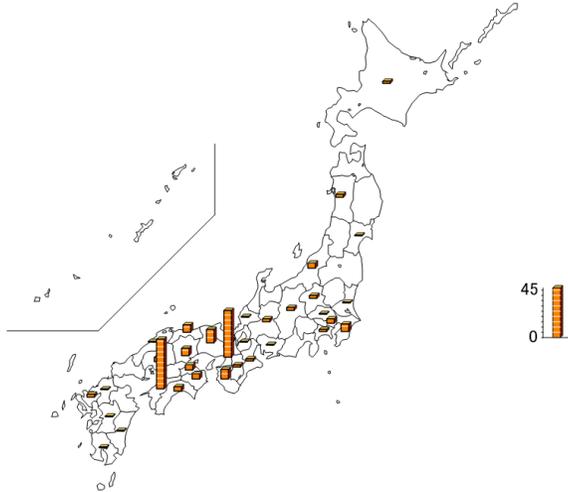
申込人数合計：197名 拠点 32名 7施設
推進 10名 5施設
一般 5名 4施設
県外 150名 90施設

※県内47名（24%）・県外150名（76%）

アンケート回答数：75（回収率 38%）

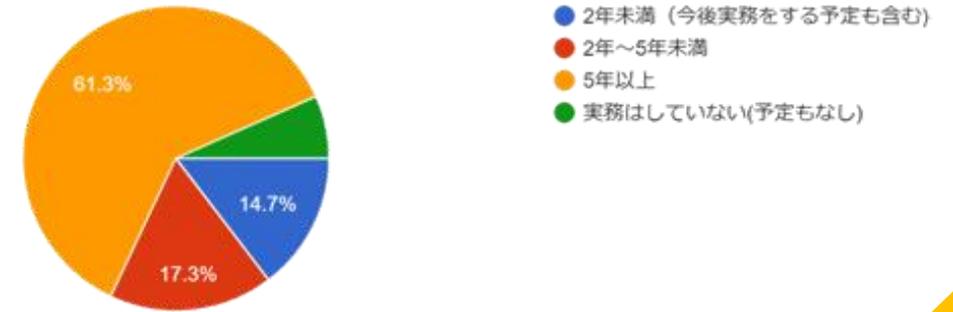
1. 参加者について

・都道府県別参加状況



愛媛県内の参加人数は昨年から若干減少(52名→47名)、県外参加者も減少(260名→150名)ですが、一昨年(84名)と比べると県外の参加者は増加しており、全国各地から参加頂いております。

問2)がん登録の実務年数を教えてください。
75 件の回答



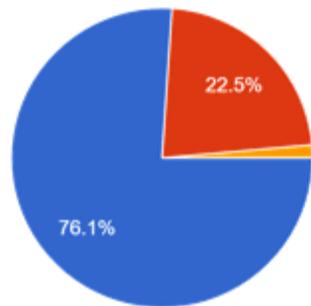
実務年数では、昨年と比べ2年～5年の割合が減少(27%→17%)、5年以上の割合が増加(50%→61%)しています。2年未満および実務はしていない方の割合に変化はありませんでした。参加者の取得資格を昨年と比べると、中級(42%)・初級(38%)と割合はほぼ変化がありませんでした。



2. 講義について(1)

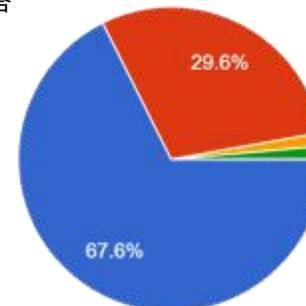
問3) 江森先生の講義『結腸・直腸の病期分類』について理解できましたか？

71 件の回答



問4) 江森先生の講義『2023年症例からの変更点』について理解できましたか？

71 件の回答



● 理解できた
● おおむね理解できた
● 半分程度理解できた
● あまり理解できなかった

問5) 江森先生の講義について感想をお聞かせください。

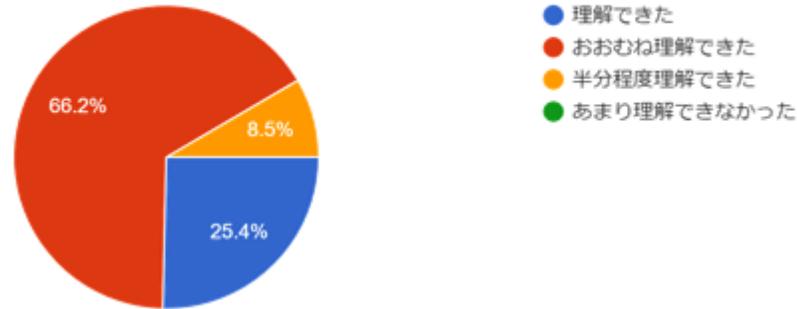
また問3.4で「あまり理解できなかった」と回答の方はどのような点が理解できなかったですか？（抜粋）

- ・基礎的なことからわかりやすく解説して下さったのでよく理解できました。
- ・大腸がんについてはMがんの考え方を復習することができました。5大がんだから「初級者向け」ということはないと感じました。
- ・大腸の区分、腹膜と漿膜の関係、漿膜のある部位のない部位の画像を見て、より位置関係が把握出来ました。事前質問の回答も、普段、悩む事が多い質問で、わかりやすかったです。
- ・腹膜と漿膜、血管の説明をしていただいたことでTNMについて理解が深まりました。
- ・大腸の解剖から、TNMコーディングの注意点など、勉強しなおすことが出来て良かったです。
- ・いつも〇〇症例からの変更点を教えてください非常に勉強になります。
- ・変更点については毎年変更があるので難渋しています。今回の資料を基に提出前に再確認しようと思いました。
- ・全国がん登録の都道府県実務者として業務を担当しており、院内がん登録側のルール変更について勉強できる機会が少ない為、大変参考になりました。

3. 講義について(2)

問6) 中林先生の講義『がん登録データを使って学会発表するレシピ～テーマの着眼点・まとめ方・抄録の書き方から発表の仕方まで～』について理解できましたか？

71 件の回答



問7) 中林先生の講義について感想をお聞かせください。

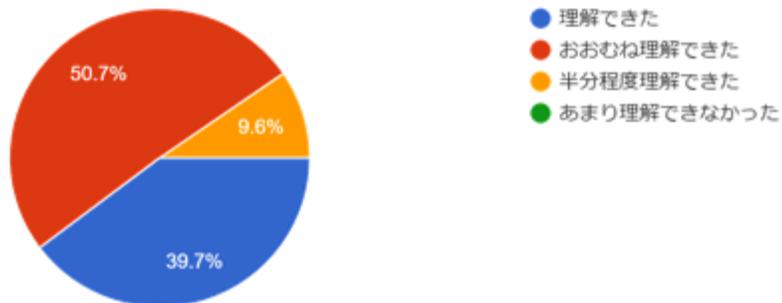
また問6で「あまり理解できなかった」と回答の方はどのような点が理解できなかったですか？（抜粋）

- ・テーマ設定やデータの深掘りについて大変ためになりました。
- ・がん登録は組み合わせでいろいろな分析に使用できることが分かりました。
- ・実例をお聞きして時代のニーズに合った活用をされていることに感服致しました。
- ・がん登録データを使った学会発表について大変勉強になり、今後データを活用した分析について業務をする中で考えながら行いたいと思いました。
- ・もっと他のがん登録データの活用法を聞きたい。
- ・自施設の先生が必要とするデータを知るためには先生とのコミュニケーションが必須であると感じました。先生方と対話する機会（環境）について、努力されていること等ございましたらご教示お願いします。
- ・医師や行政と連携し、分析・研究に成果をあげられていることに感銘を受けました。自県でも、がん登録情報を活用し成果を還元できるよう、取り組んでいきたいと思ひます。
- ・診療情報管理士としてデータ活用のための資料作成は業務としても重要だと改めて思ひました。

4. 講義について(3)

問8) 寺本先生の講義『40分 de 序論～UICC__TNMシステムの総則～』について理解できましたか？

73 件の回答



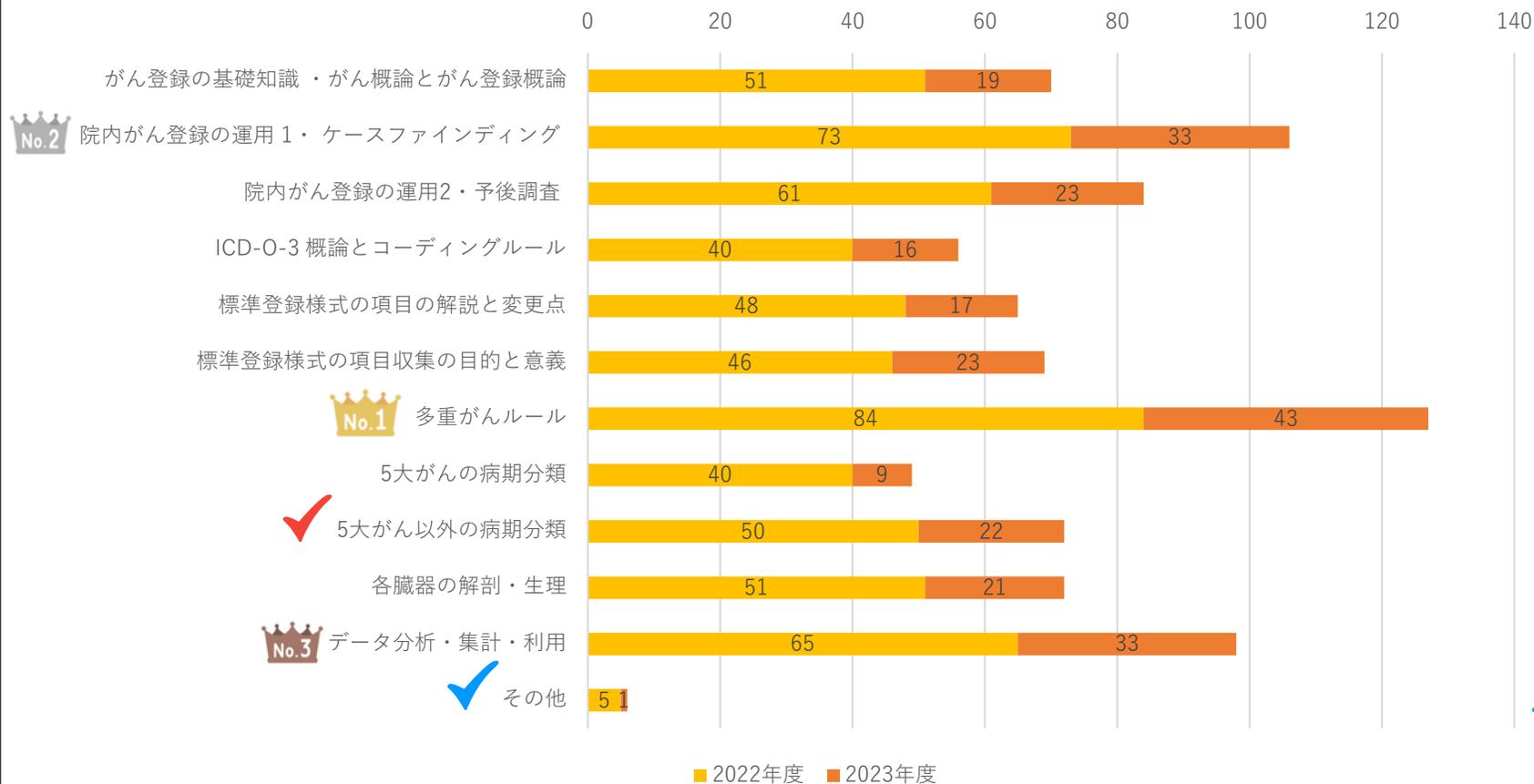
問9) 寺本先生の講義について感想をお聞かせください。

また問8で「あまり理解できなかった」と回答の方はどのような点が理解できなかったですか？（抜粋）

- ・より正確なTNMをつける参考になった。
- ・病理医の先生の講義はいつも興味深く拝聴させていただいています、ありがとうございました。
- ・寺本先生のお話は何度お聞きしても&資料も含めて、楽しく分かりやすいです。
- ・わかりやすくお話していただいたのですが、盛りだくさん過ぎて集中力が途切れてしまいました・・・。
- ・総則については学ぶ機会がなかったのでとても勉強になりました
- ・UICCのTNMの基本的な考え方について詳しくご講義いただき、日々院内がん登録業務をする中でTNMで悩むことがありますが、今後はしっかりとTNMを考えながら登録できます。ありがとうございました。
- ・病理所見の見方や院内がん登録実務に関する内容のものまで、幅広くお聞きできるので、わかりやすいです。今回の“UICC=TNMの総則”の内容は、カルテ記載や検査所見を理解する上で、とてもためになりました。
- ・表面的な字面を読むのではなく根本的なステージングを理解してコーディングをする必要性を再認識しました。

5. 今後の受講テーマについて

問16) 問15で「その他」と回答の方は、どのようなテーマを受講したいかお聞かせください。(問15の希望臓器もこちらにご記入ください)



✓ **【5大がん以外の病期分類の希望部位】**
 1位 造血器
 2位 肝胆膵
 3位 頭頸部

続いて、脳腫瘍、骨・軟部腫瘍などの希望が多かった

✓ **【その他…希望テーマ】**
 ・造血器腫瘍の多重がんルールについて

6.感想・要望等（抜粋）

- ◆web開催のため県外からでも気軽に受講ができ助かります。現地での開催だけでなく、ハイブリッドも検討していただけたら幸いです。
- ◆大きな視野でとらえることの重要性を知ることができました。
- ◆講義内容の解説も丁寧にいただき、書物からは得られない知識や情報を得ることができました。
- ◆今年度もWEB研修で参加できたこととても感謝しております。できれば演習問題のコーナーを設けていただければ更に理解が深まる気がします。
中級更新試験にて病期分類の項目評価が悪く解釈が誤っている可能性があります。具体的参考資料として活用したいので是非ご検討下さい。
- ◆大変勉強になりました。後輩に教える立場になり、何をどのように教えるのが分かりやすいのか悩んでいたところでした。また、データの利活用についても、学会報告までは難しいとしても、テーマの着眼点など参考にしたいと思います。
- ◆結腸・直腸の詳しい病期分類やUICC TNM、事前質問の回答など講座のボリュームもちょうどよく、講義内容や講義時間もとても理解しやすいと感じました。
- ◆毎年楽しみにしております。youtubeで繰り返し視聴できるのも理解や必要な時の見直しに繋がり大変助かっています。TNMの目的等の認識が浅かったので、本日の内容を実務へ反映し精度改善していきたいと思います。
- ◆TNM分類や結腸・直腸の病気分類など、基礎的な事柄から改めて勉強することができ、大変よかったです。また、がん登録情報の活用事例として中林先生のお話は大変参考になりました。
- ◆がん登録というシステムをもっと広報し、医療従事者だけでなく癌検診時にそのデータを知ることができる世の中になって欲しい。
- ◆他県の方も参加しているようなので、各県のがん登録の特徴（体制・データ）を知る時間があってもよいのかなと思いました。
- ◆施設の実務者は私一人でいつも孤独ですが、この研修会では大勢の同志がいて元気をもらえます。